地域おこし協力隊通信 にこにこ Vol.46

今月の活動報告

〈鈴木隊員〉

けんぶち屋台村では
フォークダンスも！

こんにちは。剣淵町の夏、皆さまはどのように過ごされましたか？私は、町内のお祭りのお手伝いや「けんぶち屋台村」で健康的に日焼けをしました。暑い日々が続いたことと、ビールパーティーのおかげで、例年以上にビールを摂取した夏となりました。（笑）

それでは、７、８月の活動を報告いたします。

６次産業化の研修会、ご当地メニューに関する打ち合わせ、キヌアを使用した加工品開発など、色々な方々とお話をする機会をいただき、刺激を受けた１カ月間となりました。知識が乏しいため、様々なところにアンテナを張り、一つでも多くの事を吸収したいと思っています。

そして、私たちにとっての大行事、「けんぶち屋台村」を実施しました。初めてのイベントということで、準備段階から四苦八苦でしたが、子供から大人まで沢山の方々がお越し下さり、大盛況という形で終える事ができました。このイベントを行うにあたり、2カ月近く毎週のように集まり、多くのご意見を下さったスタッフの皆様、当日のサポートを引き受けて下さったボランティアスタッフの皆様には、深く感謝しております。本当にありがとうございました。

〈今井隊員〉

マツダ剣淵交流 30 周年
事業へ参加！

初めての北海道で過ごす夏。冷房なしで生きていけるのだろうかと思いましたが、扇風機だけで十分に過ごすことが出来ました！湿気がない点・朝晩は気温が下がる点が本州とは違い快適です。

また、剣淵町の夏は（冬もですが！）イベントが多いことに驚きました。人口の割に祭りやビールパーティーなどのイベントがたくさん！設営準備から撤収まで業者に頼まず関係者の手作業でイチから作り上げていくことにも感心。そして、炎天下でお手伝いいただく高齢者事業団の方々の体力にはただただ脱帽！

そんなイベントが多い８月の中でも力を入れたのは「けんぶち屋台村」です。月に一度開催している「まちづくりカフェ」で集まった有志メンバーでイチから作り上げたイベントです。開催のきっかけは、剣淵をより良い町にするには？と話し合った際に「つながり再構築」というキーワードが生まれたことです。これをテーマにして、普段関わらない人同士が話したり、様々な年代が交流できる場を作ろう！と今回のイベントが誕生しました。

子供のボランティアスタッフを剣淵小学校・中学校でチラシを配って募集したり、隠れた特技を持っている人を探したり、剣淵町の人をどんどん巻き込んでいくように進めました。その結果、大人と子供合わせて 37 名の方と力を合わせて進めていけることとなりました。協力いただいた方に心から感謝します！このような小さなつながりを大切にして、町の人がもっと町を好きになったら素敵な循環だと思います！